

問 国土調査事業成果の課税反映は

答 原則は承知だがコンセンサスが必要



丸山勇太郎議員

賦課徴収。課税反映は全村が終
わってからという約束は間違い。
半世紀も課税反映させないのは
如何なものか。

答 庁内でも以前より問題
視している。課税公平
性の大原則は承知している。住
民のコンセンサスが必要。庁内
検討する。

賦課徴収。課税反映は全村が終
わってからという約束は間違い。
半世紀も課税反映させないのは
如何なものか。

【国土調査事業（略称「国
調」と村道認定事業）
問 国調の実績と見直し、道
路内民地の扱い。村道確
定事業の基本方針と和田野から
始めた理由は。

答 昭和63年に神城南部か
ら始めて進捗率60%。
現状終わりは見通せない。道路
内民地は非課税扱いとし寄付を
お願いしている。村道確定事業
は未登記道路敷を確定し寄付を
頂く。和田野は外国人取引が増
え、立ち合いが困難になってい
る。

問 国調の第一目的は適正な

分筆・合筆があった場合、
面積が減った場合は即課
税。それがなかった土地は旧面
積。その方が不公平では。

答 30年前は納税者に有利
な点だけ考慮した。

問 30年やって全体の60%。
まだ20年かかる。30年間
という当初の約束は果たしたし
誰も損はしない。間違った約束
は改めるべき。平成年間を区切
りとしては。

答 庁内検討し対応する。

賦課徴収。課税反映は全村が終
わってからという約束は間違い。
半世紀も課税反映させないのは
如何なものか。

問 村道確定事業は明らかに
説明不足。3年前の説明
会出席者はたった数名。

答 説明不足をどうするか
課内検討する。

問 真っ黒な建物で色彩
計画が台無しでは
答 主に外国人が届け出せ
ずにやっている

【色彩計画について】

問 真っ黒な建物が次々出現
し、このままでは「まちづ
くり環境色彩計画」がダメになる
と思うが。

答 外国人が届け出しない
でやっている。指摘が
あった場合は改善のお願いを
し、ニューズレター等発行して

いるが効果はない。

問 「もてなしのしつらえ」は
増刷したか。

答 カラーコピーで対応し
ている。

問 しっかり色合いが出せる
印刷で追加作成を。

答 冊子があることによっ
て守られるのかは別だ
が、来年度以降は予算を確保
し、できることは一生懸命取り
組む。

問 いまや計画が忘れられて
いる。外国人にはごみの
出し方やマナー等も含めて、村政
要覧のように村の理念を写真付
きで啓蒙しては。

答 ニューズレター等では
やっている。

問 外国人がルールを知らず
に建物を好き放題に改築
している。景観パトロールはし
ているか。

答 定期的にはやっていな
い。

問 真っ黒な建物をこれ以上
増やしてはならない。塗

指針から外れた真っ黒な建物の事例
多くは外国人が買い取った建物で行われている

替え補助金の復活は。

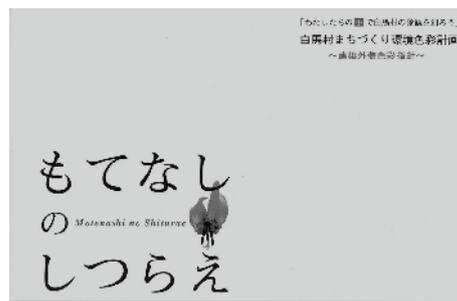
問 根幹施策であり十分検
討する。

答 村内塗装業者への説明会
は。

答 検討する。



指針から外れた真っ黒な建物の事例
多くは外国人が買い取った建物で行われている



色彩計画普及のための冊子『もてなしのしつらえ』
これなくして普及は図れない